

かいぎろく 会 議 録

かいぎめいしょう 会議名称	だい きさいわいくくみんかいぎ だい かい ちいき く ぶかい 第5期幸区区民会議 第4回「地域で暮らしやすいまち部会」
にち じ 日 時	へいせい おん がつ にち かよう ごご じ ふん ごご じ ふん 平成27年1月27日（火）午後6時30分～午後7時50分
かい じょう 会 場	さいわいくやくしよ かい だい かいぎしつ 幸区役所3階 第4会議室
しゅつせきしゃ 出席者	<p>●区民会議委員（五十音順） いとうよしみちいん おのすぐるいん かみやおさむいん さとうれいぞういん たかはしのぞみいん なりかわしんいち 伊藤善通委員、小野偉委員、神谷修委員、佐藤例藏委員、高橋希委員、成川慎一 いん ぶかいちよう ふじてるみいん まついせつこいん ふくぶかいちよう むらたせいこいん 委員（部会長）、藤井照美委員、松井節子委員（副部会長）、村田清子委員</p> <p>●事務局 さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか いまむらけんじかちよう かとうたけしかりちよう すずきふみあき 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村健二課長、加藤剛史係長、鈴木文祥 しよくいん やまだゆりなしよくいん 職員、山田侑里奈職員 (株) けいかくぎじゆつけんきゅうしよ あべ あきら 計画技術研究所 阿部 正</p>
けつせきしゃ 欠席者	あおきはるひこいん ならばやしてのえいん にしもとまるどにあいん 青木晴彦委員、榎林照江委員、西本マルドニア委員
ぼうちようしゃ 傍聴者	にん 0人
はいふしりょう 配布資料	<p>●議事次第</p> <p>●資料1 他区・他都市における「見守り活動から加入促進につながった取組」について しりよう たく たとし みまも かつどう かにゆうそくしん とりくみ 他区・他都市における「見守り活動から加入促進につながった取組」について</p> <p>●資料2 第4期区民会議「みんなで見守りたい」部会の調査審議内容 しりよう だい きくみんかいぎ みまも ぶかい ちょうさしんぎないよう 第4期区民会議「みんなで見守りたい」部会の調査審議内容</p> <p>●資料3 町内会・自治会活動の活性化に関する現状の取組 しりよう ちょうないかい じちかいかつどう かつせいか かん げんじよう とりくみ 町内会・自治会活動の活性化に関する現状の取組</p> <p>●資料4 地域における取組状況の調査について しりよう ちいき とりくみじようきよう ちょうさ 地域における取組状況の調査について</p> <p>●資料5 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案） しりよう だい きさいわいくくみんかいぎ すけじゆーる あん 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案）</p> <p>●参考資料1 川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例 さんこうしりよう かわさきしちょうないかい じちかい かつどう かつせいか かん じょうれい 川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例</p> <p>●参考資料2 パンフレット「川崎市地域包括支援センター」 さんこうしりよう ばんふれつと かわさきしちいきほうかつしえんせんたー パンフレット「川崎市地域包括支援センター」</p> <p>●その他1 第5期幸区区民会議第3回専門部会（地域力で暮らしやすいまち ほか だい きさいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ちいきりよく く 部会）摘録</p> <p>●その他2 第5期幸区区民会議委員・参与名簿 ほか だい きさいわいくくみんかいぎいん さんよめいぼ 第5期幸区区民会議委員・参与名簿</p>
ぎ だい 議 題	<p>1 他区・他都市における取組状況について たく たとし とりくみじようきよう 他区・他都市における取組状況について</p> <p>2 地域における取組状況の調査について ちいき とりくみじようきよう ちょうさ 地域における取組状況の調査について</p> <p>3 今後のスケジュールについて こんご すけじゆーる 今後のスケジュールについて</p>
けつていじこう 決定事項	<p>1 他区・他都市における取組状況について たく たとし とりくみじようきよう 他区・他都市における取組状況について</p> <p>・事例を参考に、高齢者だけでなく、子ども、障害者のことを意識しつつ、見守り じれい さんこう こうれいしゃ 子ども しょうがいしゃ いしき みまも 事例を参考に、高齢者だけでなく、子ども、障害者のことを意識しつつ、見守り かつどうなど ちょうないかいなど みりよく たか とりくみ じゆうじつ ちょうないかい かにゆうそくしん 活動等、町内会等の魅力を高める取組を充実させることで、町内会の加入促進 など地域力向上につながるという方向で検討を進める。 ちいきりよくこうじよう ほうこう けんとう すず など地域力向上につながるという方向で検討を進める。</p> <p>2 地域における取組状況の調査について ちいき とりくみじようきよう ちょうさ 地域における取組状況の調査について</p> <p>・ヒアリング調査は、次表のとおり高齢者・障害者・子どもを網羅する形で行う。 ひありんぐ ぐちょうさ じひよう こうれいしゃ しょうがいしゃ こども もうら かたち おこな ヒアリング調査は、次表のとおり高齢者・障害者・子どもを網羅する形で行う。</p>

事務局とリーダーで日程調整を行い、その他出席できる委員が出席する。
ヒアリングはリーダーが中心になって行う。

ヒアリング先		リーダー	実施日	時間	場所	出席予定者
地域 包括支援 センター	ゆめみがさき 夢見ヶ崎	なりかわ 成川	がつ 1月30日 にち (金)	15:00	しえん 支援 センター	なりかわ 伊藤、 いとう 成川、小野
	かしまだ	なりかわ 成川	がつ 2月4日 にち (水)	10:00	くやくしよ 区役所 かいぎしつ 会議室	なりかわ おの 成川、小野
ちょうないかい 町内会 自治会	こうかんどおり 鋼管通2丁目 ちょうないかい 町内会	なりかわ 成川	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定
	くぬぎ 団地 自治会	いとう 伊藤	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定
	おおやまじちかい 大山自治会※	-	がつ 2月10日 にち (木)	19:00	しみんかん 市民館	いとう おの 伊藤、小野、 なりかわ まつ井、 成川、村田
ろうじん 老人 クラブ	とでちゆうぶちゆうかい 戸手中部町会 (九十九会)	さとう 佐藤	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定
ちいきこそだ 地域子育て支援センター	むらた 村田	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定
しょうがいしやうだんしえんせんたー 障害者相談支援センター	まつ井 松井	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定	みてい 未定

※区の「町内会・自治会活性化講座」第2回を受講することにより、情報収集する

3 今後のスケジュールについて

・次回部会は平成27年2月20日(金) 18:30 から開催する。

かいぎ
会議の内容
および
おも
主な発言

1 他区・他都市における取組状況について

●資料1についてコンサルが説明した。

・他都市事例の多くは、見守り活動や防災活動など魅力的な取組を行うことで、町内会の加入促進など地域力の向上につながっている。本部会では、やはり、見守り等魅力的な取組を組織的に行うことで町内会の加入促進など地域力向上につながるという方向で取り組んでいくべきだと思ふ。

・町内会・自治会、民生委員が中心になって努力している事例が中心で、どれをとっても魅力ある取組であった。これらの事例にヒントがあれば一歩前進できる。地域における取組状況の調査時も、事例を踏まえてヒアリングできれば、より詳しい回答が得られると思ふ。

・最近、老人会から脱退した方が孤独死した。見守ろうとしても、相手が受け入れてくれない場合の対応に悩んでいる。

・最終的には大山自治会(立川市)が行っている両隣の見守りができることが

重要だと思^{おも}う。また、つづじヶ丘自治会^{が おか じ ち かい} (横浜市青葉区^{よ こ は ま し あ お ば く}) のように防災対策^{ぼう さい たい さく}の充実^{じゅう じつ}で加入促進^{かにゅうそくしん}につなげている点も参考^{さんこう}になると思^{おも}う。

・事例^{じれい}を見ると、町内会^{ちやうないかい}・自治会^{じちかい}の役員^{やくいん}、民生委員^{みんせいいいん}が中心^{ちゆうしん}となり、見守り^{みまも}や防災^{ぼうさい}などの活動^{かつどう}に取り組む^{とりく}ことにより、町内会^{ちやうないかい}の加入促進^{かにゅうそくしん}に役立^{やくだ}っていることがわかる。一方で、町内会^{ちやうないかい}・自治会^{じちかい}の役員^{やくいん}、民生委員^{みんせいいいん}の負担^{ふたん}が大きいともいえる。

・見守り^{みまも}は重要^{じゅうよう}だが、両隣^{りやうどなり}の見守り^{みまも}という考え^{かんが}は第4期^{だい き}の「みんなで見守り^{みまも}たい」で検討^{けんとう}した内容^{ないよう}と同じ^{おなじ}である。第4期^{だい き}+ α になることをしないと、第4期^{だい き}と同じ^{おなじ}ことを検討^{けんとう}することになってしまう。

→隣組^{となりぐみ}のような両隣^{りやうどなり}の見守り^{みまも}をいかに仕組み^{しくみ}としてできるかが重要^{じゅうよう}だと思^{おも}う。第4期^{だい き}を踏まえて、どう組織化^{そしきか}することができるかを考え^{かんが}ていきたい。

・この部会^{ぶかい}は高齢者^{こうれいしゃ}、障害者^{しょうがいしゃ}、子ども^{こども}が対象^{たいしょう}である。見守り^{みまも}を強調^{きやうちやう}すると、自然^{しぜん}と高齢者^{こうれいしゃ}に目が向^むいてしまうので、注意^{ちゅうい}しないとイケない。

2 地域^{ちいき}における取組^{とりくみ}状況^{じょうきょう}の調査^{ちやうさ}について

- 資料^{しりょう}2～4、参考資料^{さんこうしりょう}について事務局^{じむきょく}が説明^{せつめい}した。
- ヒアリング調査^{ひありんぐちやうさ}は、見守り^{みまも}等魅力的な取組^{なごみりよくてき}を行う^{とりくみ}ことで地域力^{おこな}向上^{ちいきりよくこうじやう}につなげるという視点^{してん}を意識^{いしき}して行う^{おこな}。
- 第4期^{だい き}と同じ議論^{ぎろん}にならないように調査^{ちやうさ}する必要がある^{ひつよう}がある。第4期^{だい き}は個人^{こじん}を意識^{いしき}した裾野^{すその}拡大^{かくだい}に取り組^とんだ。今期^{こんき}は、町内会^{ちやうないかい}などの組織^{そしき}で仕組み^{しくみ}としてできるかどうか。
- 対象^{たいしょう}は、部会^{ぶかい}のテーマ^{てーま}である高齢者^{こうれいしゃ}、障害者^{しょうがいしゃ}、子ども^{こども}が網羅^{もうら}できるようにする。事務局^{じむきょく}とリーダー^{りーだー}で日程調整^{にっていちやうせい}を行い、その他出席^{ほかしゅつせき}できる委員^{おこな}が出席^{しゅつせき}する。

【ヒアリング先^{ひありんぐさき}について】

(地域包括支援センター^{ちいきほうかくしえんせんたー})

- ・地域包括支援センター^{ちいきほうかくしえんせんたー}は第4期^{だい き}でヒアリング^{ひありんぐ}を行っている^{おこな}ので重複^{ちやうぶく}する。
- 第4期^{だい き}でヒアリング^{ひありんぐ}を実施^{じっし}しているが、実際^{じっさい}に話^{はなし}を聞^きいていない人^{ひと}もいるので、認識^{にんしき}をあわせるためにもヒアリング^{ひありんぐ}対象^{たいしょう}にしても良い^よと思^{おも}う。

(町内会^{ちやうないかい}・自治会^{じちかい})

- ・鋼管通2丁目^{こうかんとおり}町内会^{ちやうめちやうないかい}の事例^{じれい}は町内会^{ちやうないかい}で登録者^{とうろくしゃ}を募^つり、見守り^{みまも}を実践^{じっせん}している^{おこな}ので良い^よと思^{おも}った。理想的^{りそうてき}だと思^{おも}う。
- ・大山自治会^{おおやまじちかい}については、「町内会^{ちやうないかい}・自治会^{じちかい}活性化^{かつせいかこうさ}講座^{かい}」(地域振興課^{ちいきしんこうか}主催^{しゅくさい}) 第2回^{だい かい}に参加^{さんか}して情報^{じやうほう}収集^{しゅうじゅう}できる^{おこな}のではない^なか。
- ・くぬぎ台^{くだい}団地^{だんち}自治会^{じちかい}は「れんらくカード^{かーど}」の作成^{さくせい}や近隣^{きんりん}店舗^{てんぽ}との防災^{ぼうさい}協定^{きやうてい}の締結^{ていけつ}などの防災^{ぼうさい}の取組^{とりくみ}、物品^{ぶつひん}の共同^{きやうどう}購入^{こうにゅう}といった取組^{とりくみ}が興味^{きやうみ}深い^{ぶか}。

(老人クラブ)

- ・老人クラブは、戸手中部町内会（九十九会）にヒアリングをお願いをしている。

(障害者関係団体)

- ・障害者の現状課題を把握するために、障害者相談支援センターもヒアリング候補に入れるべき。

(子ども関係団体)

- ・子どもについても、子ども会やPTAの会議の中でのヒアリングは難しいので、地域子育て支援センターを対象に調査するのはどうか。

【ヒアリング項目について】

- ・各ヒアリング先への質問事項は同じなのか。
→ヒアリング項目はヒアリング団体に合った質問を行うことになる。また、質問していくうちにいろいろと展開していくと考えている。（事務局）
→ヒアリング項目としてあげている加入促進につながる、つながらないといった内容は町内会・自治会のみが対象になると思う。また、今後の取組の方向性のひとつである「加入のメリットが実感できる魅力ある町内会づくり」を踏まえて、町内会に求められる役割などを質問した方がよい。さらに、障害者についても地域とのつながりが見えにくい部分があると思うので、同様の質問をした方がよい。
- ・まずは現状把握をしっかりとすべきだと思う。それを踏まえて何ができるのか専門部会で考えたい。

【その他】

- ・秋に民生委員が行っている、高齢者に関する調査（75歳以上の高齢者世帯を対象にしたもの）で、地域包括支援センターや社会福祉協議会といった関係機関に対し、情報を提供しても良いか記入することになっている。ほとんどの回答者は情報提供して良いと回答している。
→調査の中で町内会に対しても情報提供して良いかという設問を設ければ、個人情報の問題にならず町内会が高齢者の情報を得ることができるのではないか
- ・障害者の情報は区から民生委員に提供されない。そのため、民生委員は実際に接点を持った障害者のことしか分からない。
- ・障害者の情報は災害時要援護者として把握できないのか。
→市からは災害時要援護者の登録にあたって、要介護3～5の認定者、等級1～3級の身体障害者を対象に案内を出している。登録者の情報は町内会が管理している。障害者本人が登録を希望しない限り登録されない状況になっている。
- ・災害時には、登録した障害者に対して町内会が2、3人で対応することになっ

ているが、身の回りのことで手一杯で、なかなか対応できないと思う。

→登録者は民生委員が助けてくれると思っているようだ。

→子どもについても、共働きで子どもが1人になるので、災害時は町内会が助けてくれると思っている人が多い。

→災害時にいきなり対応することは難しいので、通常時から機能する仕組みを考えていかないといけない。

→助けてくれるという意識の人が多。そういう意味では鋼管通2丁目町内会の事例は理想的だと思う。

・町内会館を活用し定期的に高齢者が集まる場をつくることできれば、町内会の役員、民生委員とネットワークができていいと思う。

・区内に障害者を雇用する場などがあるのかよく分からない。障害者はあまり地域に溶け込めていないと思う。

3 今後のスケジュールについて

●資料5について事務局が説明した。

●次回部会は平成27年2月20日(金)18:30から開催する。できる限りヒアリングを実施し、それを踏まえ第3回区民会議(3月16日(月))に報告する内容を検討する。